

2026年度

慶應義塾大学入学試験問題

経済学部

地理歴史（日本史）

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いたり、裏返したりしてはいけません。
2. 地理歴史（日本史）の問題冊子は全部で20ページ（問題は3ページから17ページまで）です。試験開始の合図と共にすべてのページが揃っているか確認してください。ページが抜けていたり重複するページがあったら、直ちに監督者に申し出てください。
3. あなたが出願時に選択した地理歴史の科目は日本史です。出願時に選択した科目を変更することはできません。
4. 解答用紙は2枚あります。解答用紙A（マークシート）が1枚と、解答用紙Bが1枚です。
5. 受験番号と氏名を、解答用紙A（マークシート）および解答用紙Bのそれぞれ所定の欄に、必ず記入してください。さらに、解答用紙A（マークシート）には受験番号をマークしてください。
6. 解答用紙A（マークシート）への記入に先立って、解答用紙A（マークシート）に記載された注意事項を必ず読んでください。また、試験開始の合図があった後、この問題冊子の2ページ目に記載された「解答用紙A（マークシート）への記入に関する注意事項」を必ず読んでください。
7. 解答は、設問中の解答方法に関する指示にしたがって、それぞれの解答用紙に記入してください。指示通りに記入されていない解答はすべて無効となります。
8. 問題冊子の余白は下書きに用いてもかまいません。ただし、1ページおよび18ページから20ページには何も書いてはいけません。
9. 解答用紙の余白、採点欄、裏面には何も書いてはいけません。
10. 地理歴史（日本史）では、解答用紙Bについては、英語の最初に採点される問題が一定点に達した受験生のみ、採点されます。解答用紙A（マークシート）の得点は解答用紙Bが採点されるかどうかには影響しません。
11. 問題冊子は、試験終了後必ず持ち帰ってください。

解答用紙A（マークシート）への記入に関する注意事項

解答用紙A（マークシート）への解答を指示されている場合は、解答用紙A（マークシート）の所定の解答欄にマークしなさい。

[例] (12) と表示のある問いに対して、「3」と解答する場合は、次の例のように解答欄(12)の③にマークしなさい。

(12)
①
②
●
④
⑤
⑥
⑦
⑧
⑨
⑩
⊖

なお、解答欄にある⊖はマイナス符号－を意味します。

I 関税について述べた次の文章を読んで、問1～問5に答えなさい。解答は、設問で指定された場合を除いて、すべて[解答用紙A（マークシート）]の所定の解答欄にマークしなさい。

関税とは、一般に、商品の輸出入に際して課される税である。その起源は古く、商業の発展にともなって関税の原型とみられるものが出現していた。

A 関税は、政府財政の収入源であるとともに、政府が輸出入に介入する手段でもある。政策や法令が輸出入に影響を与えることはしばしば見られ、ルイ14世に仕えたコルベールの重商主義政策や、19世紀前半のイギリスにおける穀物法などが挙げられる。江戸時代のB 長崎における統制貿易も、その一例と言える。

19世紀半ばの東アジアのC 開港に際しては、関税率の設定に関する取り決めが問題になった。中国は、開港と同時期に欧米諸国と条約を結んで以降、関税率を自由に決定できなくなり、また日本も、開港を取り決めた条約で協定関税を容認した。これにより、両国とも後に関税自主権の回復が重要な政治的課題となった。

第一次世界大戦後に開催されたD パリ講和会議では、新たな国際秩序のあり方が模索されたが、世界恐慌を契機として国家間の対立が激化し、経済のブロック化が進んだ。第二次世界大戦後には、その反省から、自由貿易を推進するE「関税と貿易に関する一般協定（GATT）」が発足し、後に世界貿易機関（WTO）へと発展した。

問1 下線部Aに関連して、次の文章は、関税が一国の輸入に影響を与えるメカニズムについて理論的に示したものである。文章中の空欄（ア）～（ウ）に入る語の組み合わせとして最も適当なものを、下の1～8の中から選びなさい。ただし、文章中で触れられていない条件については一定とする。

解答は解答欄

(1)

 に、その番号をマークしなさい。

A国は商品Xを輸入している。A国の政府が商品Xの輸入に対する関税の税率を（ア）と、輸入した商品XのA国内の市場における価格は（イ）。それにより、輸入した商品Xは、A国内の市場において、A国内で生産される同じ商品との価格面での競争で（ウ）になり、A国の商品Xの輸入量は減少していくと考えられる。

- | | | |
|------------|-------|------|
| 1. ア＝引き上げる | イ＝上がる | ウ＝不利 |
| 2. ア＝引き上げる | イ＝上がる | ウ＝有利 |
| 3. ア＝引き上げる | イ＝下がる | ウ＝不利 |
| 4. ア＝引き上げる | イ＝下がる | ウ＝有利 |
| 5. ア＝引き下げる | イ＝上がる | ウ＝不利 |
| 6. ア＝引き下げる | イ＝上がる | ウ＝有利 |
| 7. ア＝引き下げる | イ＝下がる | ウ＝不利 |
| 8. ア＝引き下げる | イ＝下がる | ウ＝有利 |

問2 下線部Bに関連して、次の資料a～cは、江戸時代の長崎および長崎貿易に関する文書・命令からの抜粋である（必要に応じて表現を改めた）。資料a～cが作成・発令された時期を、下の年表中の空欄1～7の中からそれぞれ選びなさい。

aの解答は解答欄〔2〕に、 bの解答は解答欄〔3〕に、 cの解答は解答欄〔4〕に、
その番号をマークしなさい。（重複使用不可）

a

兼て通信なき異国の船、日本の地に来る時は、或は召捕り、又は海上にて打払ふ事、いにしへより国法にして、
今もその掟に違ふことなし、^{たとえ}仮令我国より漂流したる人を送り来るといふとも、長崎の外の湊にしては上陸の
ことをゆるさず（中略）長崎湊に来るとも、一船一紙の信牌なくしては通ることかたかるべし（中略）猶も
望むことあらば、長崎にいたりて、その所の沙汰にまかすべし

b

これまで邪宗門の儀いささかにても書き載せこれある書物は一切御制禁の処、向後は（中略）勸法にかかわら
ざる書の分は、御用物は勿論、世間流布いたし苦しからざる旨、仰せ付けられ候

〔注〕邪宗門：キリスト教 勸法：布教

c

今朝異国船に旗建候に付、カピタンへ見極め申付、遠眼鏡相渡し候処、エンゲレス船に相違これなき段申聞、
（中略）カピタン一見大に驚き（中略）敵国エンゲレス二番之軍船フレガットと申船にて（中略）昨夜湊内
バツテイラ乗廻し候節、玉打いたし、湊の浅深を計り、本船へ引き取り候よし

〔注〕カピタン：オランダ商館長 フレガット：フリゲート、軍艦の一種 バツテイラ：端艇
（資料出所はいずれも省略する。）

1

長崎に唐人屋敷が設けられた。

2

新井白石の提案により、長崎での貿易額が制限された。

3

最上徳内が、初めて蝦夷地に渡った。

4

クナシリ・メナシのアイヌが蜂起した。

5

レザノフが長崎に来航した。

6

モリソン号が浦賀に来航した。

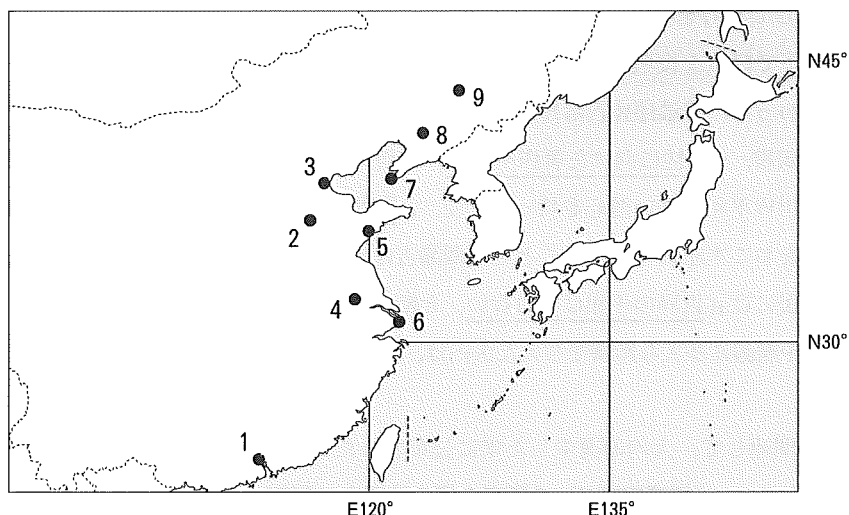
7

問3 下線部Cに関連して、日本との条約によって開港場で自由貿易の権利を得た欧米諸国は、幕末期には軍勢力、とりわけ海軍を自由貿易の妨げを取り除くために用いることもあった。尊王攘夷派の行動に対して、幕末期に日本と通商条約を締結していた諸国の海軍がとった軍事行動と、それが尊王攘夷派および朝廷の対外方針に与えた影響について〔解答用紙B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

問4 下線部Dに関連して、パリ講和会議後に開催されたワシントン会議では、中国の主権の尊重や経済上の門戸開放・機会均等に関する九カ国条約が締結されたが、この背景には日本の中国進出があった。これに関連する次の文章を読み、文章中の（ア）、（イ）に入る地名を指す場所として最も適当な位置を、下の地図中の1～9の中からそれぞれ選べない。

アの解答は解答欄〔5〕に、イの解答は解答欄〔6〕に、
その番号をマークしなさい。（重複使用不可）

第一次世界大戦を契機として、日本の中国への進出が拡大し、経済面では、満洲での南満洲鉄道株式会社による開発や、（ア）を中心として日本の民間資本による紡績工場の設立が活発化した。こうした日本の進出の一方で、中国国民党は、自らが組織した国民革命軍により中国の軍事的統一を進めた。これに対し、権益の確保に危機感を抱いた関東軍は、（イ）郊外で南満洲鉄道の線路を爆破し、これを口実に軍事行動を開始して、満洲全体を制圧した。この軍事行動が起こった翌年、排日運動が高まった（ア）において、日本人僧侶が襲撃された事件をきっかけに日本軍と中国軍との軍事衝突が起こった。



備考：国境線は現在のもの。

問5 下線部Eに関連して、この協定の調印と同時期に、第二次世界大戦後の国際経済秩序の柱となる国際機関がその業務を開始した。日本は、国際社会への復帰にともないこの国際機関に加盟したが、「国民所得倍增計画」を閣議決定した首相の在任期間中に、この国際機関の加盟国としての日本の制度上の地位が変化した。この変化は、それまでの日本の外国為替管理のあり方にどのような影響を与えたか。日本の制度上の地位の具体的な変化に触れつつ、〔解答用紙B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

Ⅱ 財政学者大内兵衛について述べた次の文章を読んで、問6～問13に答えなさい。解答は、設問で指定された場合を除いて、すべて〔解答用紙A（マークシート）〕の所定の解答欄にマークしなさい。

A 1888年8月29日、淡路島にある高田村（現在の南あわじ市の一部）で大内兵衛は生まれた。河上肇の「社会主義評論」に感化され、社会科学への関心を強めた若き日の大内は、東京帝国大学法科大学経済学科に進学、卒業ののち、大蔵省に入省した。入省3年目、ニューヨークに派遣されると、ウィルソン大統領の指導力を目の当たりにし、「世界の精神はデモクラシー、その経済的な形は資本主義的な富」であることを痛感する。

B 帰国後の役人仕事に疑問を感じた大内は、森戸辰男の主催する会合に参加したことをきっかけに、新設の東京帝国大学経済学部へと職を転じる。だが、大内が編集した『経済学研究』の森戸論文が政府の弾圧対象となり、大内も責任を問われて失職、その後復職したが、ふたたびC 人民戦線事件で検挙・起訴される。最終的には無罪を勝ち取ったものの、大学に復帰できぬまま終戦を迎える。

戦争終了からまもなく、大内は二度目の復職を果たし、以後、活発な発言、活動を開始していった。D 吉田茂が組閣した際には、大蔵大臣への就任を要請され、これを固辞したいっぽう、政府の経済統計の整備や社会保障の基本方針の策定など、社会再生の道標づくりに力を尽くした。

大内は教育者としても力を発揮し、門下生たちも、戦後日本の歴史に大きな足跡を残した。有沢広巳は、占領期のE 激しいインフレ下で経済を復興させる政策を提唱し、脇村義太郎は、財閥解体の議論をリードし、のちには芸術の振興・普及にも関わった。美濃部亮吉は1967年に東京都知事選に当選し、先進的な福祉行政、環境行政を推進した。

大内は多くの翻訳書、F 女性に向けた著作や記事、数百に及ぶエッセイを残したことで知られる。彼は、戦時期の過酷な体験から、世界平和に強い関心を持っていた。G「学問のすすめ」と題された小文では、学問は人格を作ること、その人格こそが国をおこす原動力になることを福澤諭吉は説いた、と論じたうえで、利己的、自己栄達のための学問を批判し、無学な国民にはH 世界の平和は守れない、と断じた。

戦後日本の政策や議論に多大な影響を与えた大内は、1980年5月1日、91年にわたる波乱に満ちた人生の幕を閉じた。

問6 下線部Aに関連して、大内の誕生した年に公布された市制・町村制のもとでは、市長と町村長はそれぞれどのように選任されたか。〔解答用紙B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

問7 下線部Bに関連して、次の資料は、大内が大蔵省で関わった業務に関する回顧からの抜粋である（必要に応じて表現を改めた）。これを読んで、資料中の空欄（ア）に入る当時の中国の政府で中心的な役割を果たした人物の名前を示しつつ、日本政府が借款に踏み切った理由について、〔解答用紙B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

またぼくは勝田大蔵大臣の命により、「黒龍江森林を担保とする借款」とか、「吉林省何々鉄路借款」というような文書を作り、いわゆる「西原借款」の形式をととのえて、それを曹汝霖のいる公使館まで持参するような仕事をさせられた。これが日本にとって他日大損になりはしないかという不安を多少もっていたが、そのことが、どのくらい悪いことであるかはよくわからなかった。この悪名高き西原借款により、大蔵省の高官はそれぞれ中国政府（ア）から勲章をもらった。ぼくも四等嘉禾章をもらった。（ア）は勲章はくれたが、借款の利子は一文も払わなかった。

〔資料出所〕大内兵衛『経済学五十年 上』。

問 8 下線部Cに関連して、次の資料 a～c は、日中戦争の勃発前後に弾圧された学者たちの文章からの抜粋である（必要に応じて表現を改めた）。資料 a～c の執筆者の組み合わせとして最も適当なものを、下の 1～6の中から選びなさい。

解答は解答欄 (7) に、その番号をマークしなさい。

a

国家内にありて強者が自己の生存上の必要と言う名目の下に弱者の権利を侵害することが正義原則に反するものであって、国家の本質、国家の理想を裏切り、国家の品位を毀損するものである如く、国際間にありて強国が自国生存上の必要と称して弱国の権利利益を侵害することも亦正義原則に反するものであり、国家の国家たる所以の本質に悖り、国家の理想を裏切り、国家の品位を害するものと言わねばならない。

b

最高機関意思とは国家の総ての活動を統率し其原動力となるべき意思をいう、国家最高の権力というも同意義なり。最高機関意思が国家の如何なる機関より出づるかは国の政体により同じからず、之に依りて主権が或は君主に属し或は国民に属すと称せらる、君主国に於て普通に君主を主権者と称するも亦同意義なり。

c

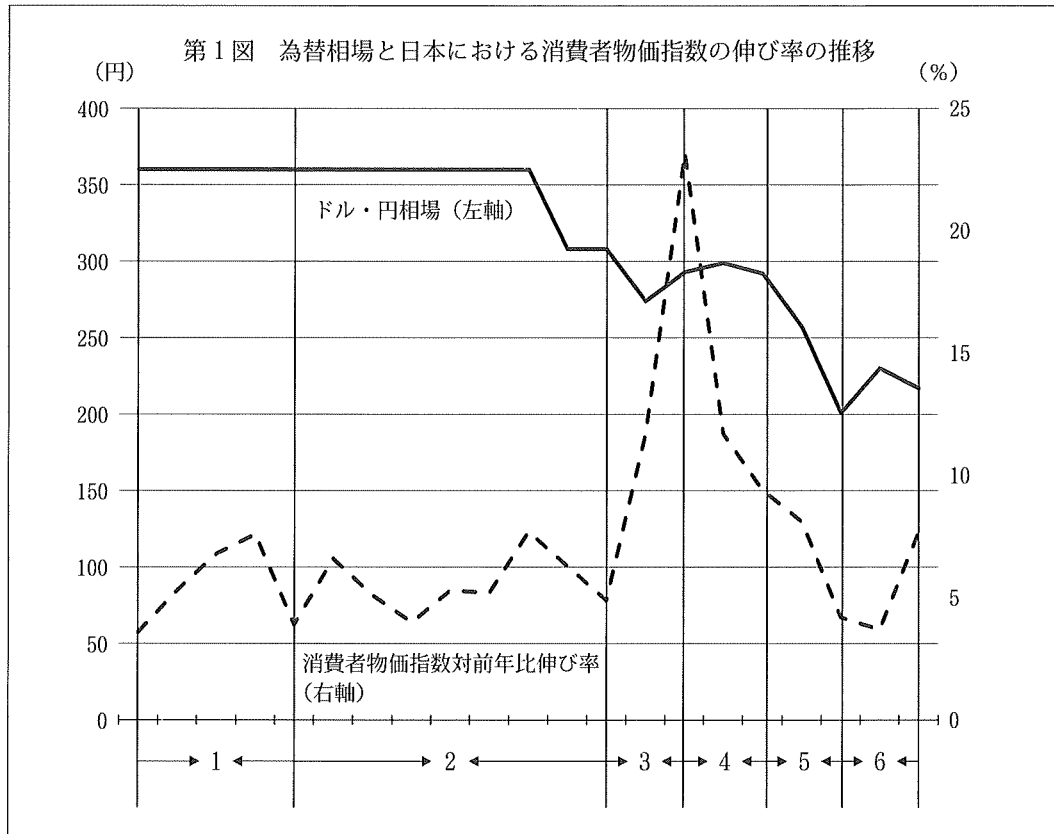
どんな刑罰が科せられるか、予めわからないようでは各人の権利、自由は實際危い。即ちこの要求は法治国の各人にとって至極もつものことであり、この要求が近代刑法を生んだのである。こんなわけで現今の国家においては、何が刑罰かという問題は刑法によってのみ解決されている。

（資料出所はいずれも省略する。）

- | | | |
|------------|---------|---------|
| 1. a＝滝川幸辰 | b＝美濃部達吉 | c＝矢内原忠雄 |
| 2. a＝滝川幸辰 | b＝矢内原忠雄 | c＝美濃部達吉 |
| 3. a＝美濃部達吉 | b＝滝川幸辰 | c＝矢内原忠雄 |
| 4. a＝美濃部達吉 | b＝矢内原忠雄 | c＝滝川幸辰 |
| 5. a＝矢内原忠雄 | b＝滝川幸辰 | c＝美濃部達吉 |
| 6. a＝矢内原忠雄 | b＝美濃部達吉 | c＝滝川幸辰 |

問9 下線部Dに関連して、第二次世界大戦後の各内閣が直面した政策課題に関する以下の①、②に答えなさい。

- ① 次の第1図は、ある21年間のドル・円の為替相場と日本における消費者物価指数の対前年比伸び率の推移をグラフ化したもので、図の横軸の1～6は、各内閣が政権を担当した時期を示した区分である。2の時期に円相場の上昇と一時的な安定が見られるが、これらの動きについて、為替相場制度の変更と関連させながら、〔解答用紙B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。



〔資料出所〕総務省「消費者物価指数」(消費者物価指数対前年比伸び率)，日本銀行「外国為替相場状況」(ドル・円相場)より作成。

- ② 内閣は、政策の特徴を示すために、しばしば分かりやすい文言を用いる。下のa～cに該当する内閣が政権を担当した時期を、第1図の1～6の中からそれぞれ選びなさい。

aの解答は解答欄 (8) に、 bの解答は解答欄 (9) に、 cの解答は解答欄 (10) に、
その番号をマークしなさい。(重複使用不可)

- 「寛容と忍耐」を唱えて野党との対立を回避する一方、貿易を促進するために、LT協定の締結を実現させた。
- 金脈問題を受けて逮捕されることとなる前首相との政治姿勢の違いを示すため、「クリーンな政治」を打ち出した。
- 「持たず、作らず、持ち込ませず」という原則を内閣として初めて表明し、その原則が、国会で決議、確認された。

問10 下線部Eに関連して、占領期の物価の動向は、国の政治や企業行動、さらには労働運動にも影響を与えた。次のa～cの出来事は、以下の年表のどこに入るのが適当か。年表中の空欄1～6の中からそれぞれ選びなさい。

aの解答は解答欄 (11) に、 bの解答は解答欄 (12) に、 cの解答は解答欄 (13) に、
その番号をマークしなさい。(重複使用不可)

- a. 国鉄や東芝松川工場の労働組合員20人が逮捕・起訴された。
- b. 昭和電工事件により芦田均内閣が退陣した。
- c. 日本政府がサンフランシスコ平和条約に調印した。

1

連合国軍最高司令官総司令部（GHQ/SCAP）が五大改革を日本政府に指示した。

2

労働組合法が制定された。

3

復興金融金庫が創設された。

4

経済安定九原則を受けてドッジが初来日した。

5

日本労働組合総評議会が結成された。

6

問11 下線部Fに関連して、女性の教育や政治と関係のある次の1～4の出来事を年代の古い順に並べ替え、その番号を左から順に、〔解答用紙B〕の所定の欄に記入しなさい。

- 1. 治安警察法が改正され、女性の政治演説会への参加が認められた。
- 2. 東京女子師範学校が設立された。
- 3. 長沼（高村）智恵子の絵が雑誌『青鞥』の創刊号の表紙を飾った。
- 4. 山川捨松が岩倉使節団に同行してアメリカに向けて出発した。

問12 下線部Gに関連して、次の文章を読んで、文章中の空欄（ ア ）,（ イ ）に入る人名を、下の1～8の中からそれぞれ選びなさい。

アの解答は解答欄 (14) に、 イの解答は解答欄 (15) に、
その番号をマークしなさい。（重複使用不可）

福澤が慶應義塾を開塾したのは幕末のことであった。当時は、全国各地に私塾が設けられ、多くの優れた人材を輩出していた。梅田幽齋に師事し、適塾では福澤の先輩だった（ ア ）は、明治期に国民皆兵制に基づく近代的な軍隊を構想し、兵部大輔を務めた。また、『省儉録』で「東洋道德・西洋芸術」を説いた（ イ ）は、五月塾をひらき、勝海舟や吉田松陰などの育成にあたった。だが、（ ア ）や（ イ ）など、先覚者の多くは、志半ばにして暗殺されることとなる。

- | | | | |
|----------|---------|----------|---------|
| 1. 大村益次郎 | 2. 緒方洪庵 | 3. 佐久間象山 | 4. 高杉晋作 |
| 5. 高野長英 | 6. 橋本左内 | 7. 山県有朋 | 8. 渡辺崋山 |

問13 下線部Hに関連して、第二次世界大戦への反省から1945年に国際連合が創設された。だが、アメリカとソ連の対立が激化し、東西両陣営に共同防衛組織が設けられたことで、日本の外交や安全保障も多大な影響を受けた。両陣営に共同防衛組織が設立された経緯について、西ドイツの動向とそれへの東側諸国の対応に触れつつ、〔解答用紙B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

Ⅲ 中曽根康弘の生涯について述べた次の文章を読んで、問14～問20に答えなさい。解答は、設問で指定された場合を除いて、すべて〔解答用紙A（マークシート）〕の所定の解答欄にマークしなさい。

中曽根康弘はA群馬県高崎市に、材木商の中曽根松次郎の次男として生まれた。東京帝国大学を卒業後、B内務省に入省するが、まもなく海軍経理学校へ所属し、海軍主計中尉としてアジア太平洋戦争の開戦を迎え、C敗戦の際には海軍主計大尉となっていた。戦後は、内務省へ復歸したのち、政治家への道を歩んだ。衆議院議員選挙へ民主党公認で立候補して当選を果たし、いわゆる保守合同を経て自由民主党に所属することになった。

中曽根は、岸信介内閣で科学技術庁長官として初入閣を果たし、歴代首相のもとで運輸大臣や通産大臣など要職を歴任した。そして中曽根は、内閣総理大臣に就任した。

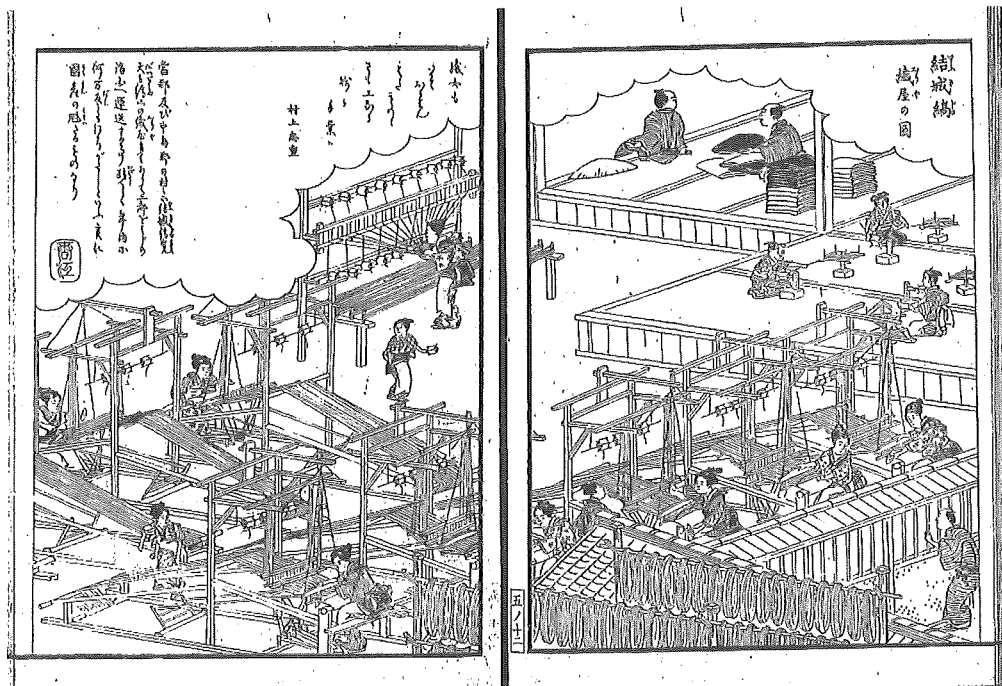
政権の座に就いた中曽根は、外交問題と行財政改革に積極的に取り組んでいった。

外交問題については、まず日韓関係の関係改善を目指した。D総理としての韓国訪問を戦後初めて実現し、全斗煥大統領と会談した。続いて、アメリカを公式訪問してロナルド＝レーガン大統領と会談し、日米関係を強固にした。加えて、胡耀邦総書記や鄧小平中央軍事委員会主席らの中国要人と会談し、日中関係の強化にも力を注いだ。一方で、この時期は、アメリカとEソ連との対立が深まるなど国際社会の不安や緊張感も高まっていた。

行財政改革については、F中曽根は、国家財政の悪化を解決するために、三公社民営化に取り組んだ。しかしながら、売上税の導入は実施されることなく中曽根内閣は総辞職した。

中曽根は、退陣したのちも、米ソや欧州、韓国の首脳との会談に臨み、Gイラクがクウェートに軍事侵攻した際には邦人解放を求めてバグダードへ赴くなど、議員を引退するまで国際的な活動を続けた。

問14 下線部Aに関連して、群馬県域を含む日本の各地域では、江戸時代に織物業の生産が発展した。次の図版は、尾西地域（現在の愛知県の一部）における結城縞と呼ばれる織物の生産の様子を示したものである。日本の各地域では、図版のような生産形態とともに問屋制家内工業も広く普及していた。図版のような生産形態の名称を示しつつ、問屋制家内工業との違いを、〔解答用紙B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。



〔資料出所〕『尾張名所図会』。

問15 下線部Bに関連して、明治初期の内務省は官営工場を経営し、殖産興業をおし進めた。次の資料は、官営工場として発足した富岡製糸場の設立に関与した渋沢栄一の回想からの抜粋である（必要に応じて表現を改めた）。この資料を読んで以下の①～③に答えなさい。

かくて工場は歳を閲すること二年有余にして落成せしかば、明治五年六月開業の式を挙げ、α 工女三百余人を募りて繰糸の式を伝習せしむ。藍香工場を主宰し、ブリューナ技術を担当し、（ア）より招聘せる四名の女工を教師として、欧州製造の新式機械を運転せり、之を富岡製糸場の起立と称す。当時機械製糸の事、他に類例なきにあらずと雖も、規模の宏大にして、施設の完全なるもの、富岡に及ぶ者なく、世人目を聳てて驚歎し、模範工場の名、都鄙の間に聞ゆ。其所管は屢転換して、後遂に内務省に属し、β 今は民間の経営に帰したり。

〔資料出所〕「青淵先生伝初稿」（『渋沢栄一伝記資料』第2巻）。

① 波線部αに関連して、富岡製糸場で新技術を習得した女工は日本各地でそれを伝えた。しかしながら、繊維産業の発展とともに、女性や年少者の労働条件の悪化が問題視されるようになった。これに対し政府は労働者保護に関する法律を公布したものの、繊維業界などの反対があり、実施が延期された。この法律の名称を、〔解答用紙B〕の所定の欄に記入しなさい。

② 空欄（ア）には、技術者ブリューナの母国が入る。この国名として最もふさわしいものを、次の1～6から選びなさい。

解答は解答欄 (16) に、その番号をマークしなさい。

- | | | |
|---------|---------|---------|
| 1. アメリカ | 2. イギリス | 3. オランダ |
| 4. ドイツ | 5. フランス | 6. ロシア |

③ 波線部βに関連して、次の表は、明治政府から払下げられた工場および鉱山とその払下げ先である。次のa～cに入る払下げ先の組み合わせとして最も適当なものを、下の1～6から選びなさい。

解答は解答欄 (17) に、その番号をマークしなさい。

工場・鉱山	払下げ先
阿仁銅山	a
長崎造船所	b
三池炭鉱	c

- | | | |
|---------|------|------|
| 1. a＝古河 | b＝三井 | c＝三菱 |
| 2. a＝古河 | b＝三菱 | c＝三井 |
| 3. a＝三井 | b＝古河 | c＝三菱 |
| 4. a＝三井 | b＝三菱 | c＝古河 |
| 5. a＝三菱 | b＝古河 | c＝三井 |
| 6. a＝三菱 | b＝三井 | c＝古河 |

問16 下線部Cに関連して、次の資料a～cは、それぞれ、第二次世界大戦の末期に取り決められた連合国側の宣言もしくは協定を、日本政府が日本語に訳したもののからの抜粋である（必要に応じて表現を改めた）。資料a～cの宣言もしくは協定は、一般にそれぞれ地名を冠した名称で呼ばれている。その地名の場所として最も適当なものを、下の地図中の1～9の中からそれぞれ選びなさい。

aの解答は解答欄 (18) に、 bの解答は解答欄 (19) に、 cの解答は解答欄 (20) に、
その番号をマークしなさい。（重複使用不可）

a

吾等合衆国大統領、中華民国政府主席及「グレート・ブリテン」国総理大臣ハ我等ノ数億ノ国民ヲ代表シ協議
ノ上日本国ニ対シ今次ノ戦争ヲ終結スルノ機会ヲ与フルコトニ意見一致セリ

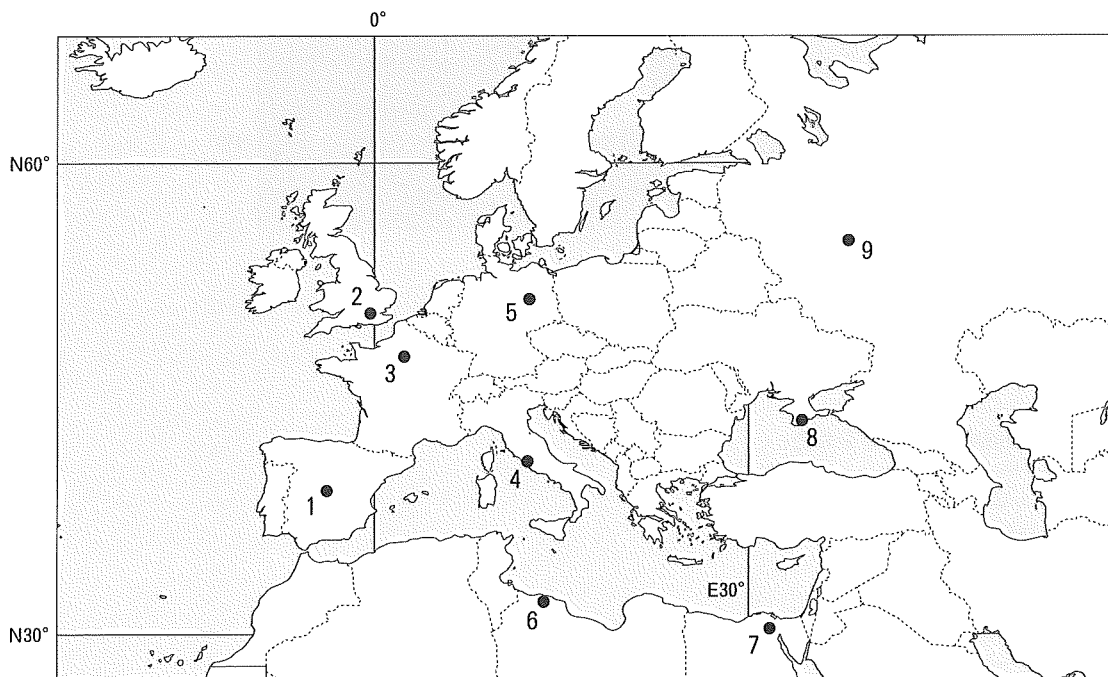
b

「ソヴィエト」連邦ハ中華民国ヲ日本国ノ^{きほん}羈絆ヨリ解放スル目的ヲ以テ自己ノ軍隊ニ依リ之ニ援助ヲ与フル為
「ソヴィエト」社会主義共和国連邦中華民国間友好同盟条約ヲ中華民国国民政府ト締結スル用意アルコトヲ
表明ス

c

右同盟国ノ目的ハ日本国ヨリ千九百十四年ノ第一次世界戦争ノ開始以後ニ於テ日本国ガ奪取シ又ハ占領シタル
太平洋ニ於ケル一切ノ島嶼ヲ剥奪スルコト並ニ満洲、台湾及澎湖島ノ如キ日本国ガ清国人ヨリ盗取シタル一切
ノ地域ヲ中華民国ニ返還スルコトニ在リ

〔資料出所〕『日本外交年表並主要文書』。



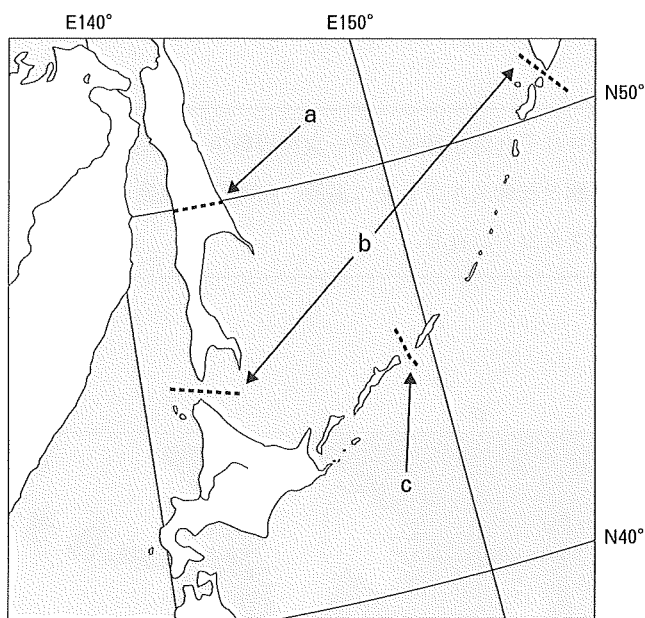
備考：国境は現在のもの。

問17 下線部Dに関連して、第二次世界大戦後の東アジアの国際関係に関する次の1～4の出来事を年代の古い順に並べ替え、その番号を左から順に、〔解答用紙B〕の所定の欄に記入しなさい。

1. 大韓民国と朝鮮民主主義人民共和国が成立した。
2. 日ソ共同宣言が調印された。
3. 日本が中華民国と平和条約を締結した。
4. 日本の警察予備隊が創設された。

問18 下線部Eに関連して、日本とロシアとの国境線は、両国間の交渉を反映し、その都度結ばれた条約によって変化してきた。下の地図の点線a～cは、第一次世界大戦前に日本とロシアが締結した条約によって国境と定められた線である。点線a～cを国境と定めた条約が調印された時期は、以下の年表のどこに入るのが適当か。年表中の空欄1～6の中からそれぞれ選びなさい。

aの解答は解答欄 に、 bの解答は解答欄 に、 cの解答は解答欄 に、その番号をマークしなさい。（重複使用不可）



江戸幕府が異国船打払令（無二念打払令）を出した。

日米修好通商条約が締結された。

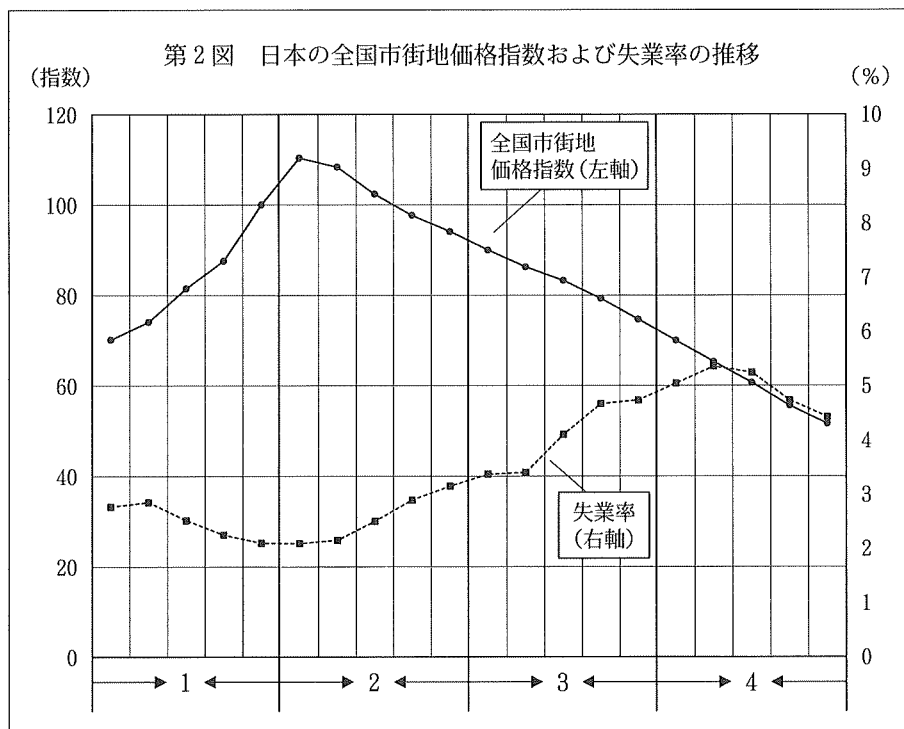
開拓使が設置された。

ロシア皇太子ニコライが天津で日本人巡査に襲われ負傷した。

日英同盟が締結された。

問19 下線部Fに関連して、次の第2図は、中曽根康弘が首相を務めた時期を含む、ある20年間の全国市街地価格指数と失業率の推移をグラフ化したものである。図の横軸の1～4は、5年ごとの区分である。下のa～dの出来事が起きた時期を、第2図の1～4の中からそれぞれ選びなさい。ただし、a～dの出来事が起きた時期が1の時期より前の場合は0を、4の時期より後ろの場合は5を選びなさい。

aの解答は解答欄 (24) に、 bの解答は解答欄 (25) に、 cの解答は解答欄 (26) に、
dの解答は解答欄 (27) に、
その番号をマークしなさい。(重複使用不可)



〔注〕「全国市街地価格指数」は、この期間のある年を100としたときの指数値。

〔資料出所〕『近現代日本経済史要覧』補訂版（全国市街地価格指数）、International Monetary Fund, World Economic Outlook Database（失業率）より作成。

- a. 消費税が3%の税率で導入された。
- b. 日本債券信用銀行と日本長期信用銀行が経営破綻した。
- c. 村山富市が内閣総理大臣に就任した。
- d. 郵政民営化関連法案が成立した。

問20 下線部Gに関連して、この軍事侵攻に対する多国籍軍の武力制裁を契機に、国際連合の活動への日本の関与のあり方には変化が生じた。多国籍軍の武力制裁に際しての日本政府の対応と、その後に生じた国際連合の活動への関与のあり方の変化について、具体的な法律の名称に触れつつ、〔解答用紙B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

Ⅳ 次の文章を読んで、以下の問21、問22に答えなさい。解答はすべて〔解答用紙B〕の所定の欄に記述しなさい。

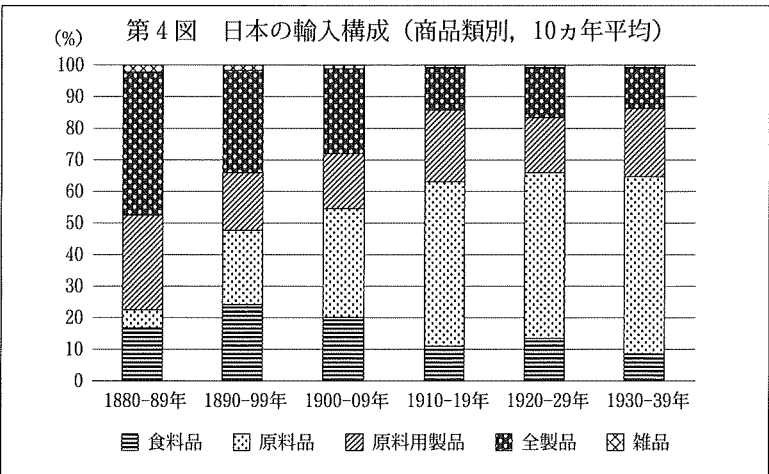
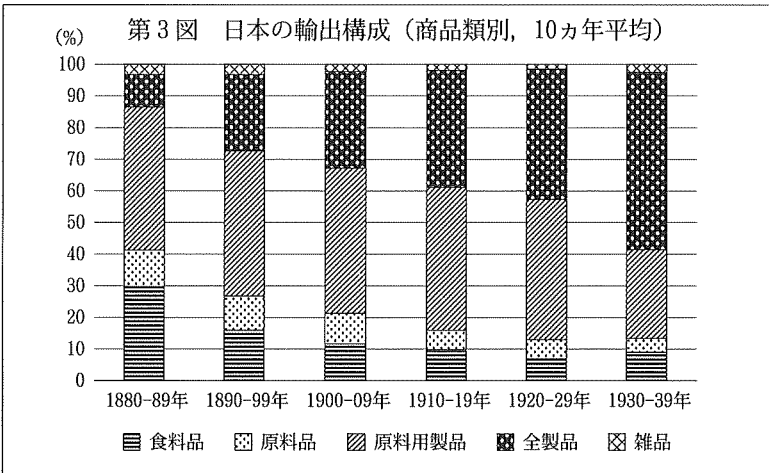
慶應みらい君は、明治期から第二次世界大戦勃発までの日本の貿易について関心を持ち、いくつかの資料を見つけ、また統計から図を作成しました。みらい君は、これらの資料と図から何が読みとれるのか考えてみることにしました。皆さんも一緒に考えてみましょう。みらい君は、慶應義塾大学経済学部に入學したら、先行研究をもっと読み、日本内外の史料やデータを集め、統計的手法も学んで、この問題についてさらに深く考えてみたいとワクワクしています。

問21 みらい君は、資料a（必要に応じて表現を改めた）と第3図、第4図から、日本の明治期から第二次世界大戦勃発までの輸出入品の構成の変化は、同期間の日本における産業の構成の変化と関連していると考えました。あなたは、みらい君がどのような関連を読みとったと考えますか。第3図と第4図の関係するデータの推移に具体的に触れつつ、〔解答用紙B〕の所定の欄の範囲内で記述しなさい。

a

（前略）商工省がこの程調査せる世界主要国の輸出及び輸入貿易構成状態の比較は時節柄特に注目される、即ち1935、6年の両年及び最近五ヶ年平均における英、米、独、仏、日の貿易構成を比較するに1936年度において我国の輸出構成においては全製品の占むる割合五割八分一厘となり、独、英、仏に次ぎ工業国への躍進を示しているが（中略）原料品の輸入は輸入総額の八割を占め綿花、羊毛、鉄、原油、ゴム等工業原料の大半を海外に依存している（後略）

（資料出所は省略する。）



〔注〕10年間を平均した1年間の輸出入額の比率。朝鮮・台湾・南樺太との移出入額を含んでいない。
「原料用製品」は加工された原料品、「全製品」は完成した製品を指す。
〔資料出所〕『明治以降本邦主要経済統計』より作成。

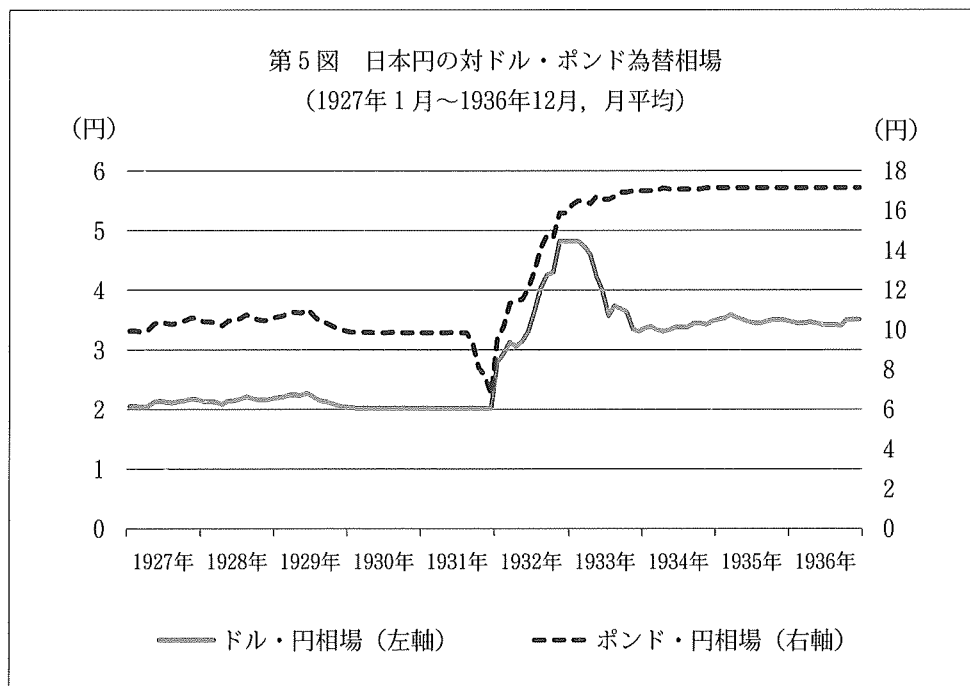
問22 みらい君は、問21での考察を踏まえて、明治期以来の日本の貿易相手に関心を持ち、以下の資料 b（必要に応じて表現を改めた）を見つけ、そこに記されている通商交渉についてさらに調べてみました。すると、波線部 α の日本とインドの貿易における変化は、第 5 図に示された日本円の為替相場の変動と関連していることに気づきました。

これについて、あなたは、みらい君がどのような関連を読みとったと考えますか。通商交渉の背景となる日本とインドの貿易における主な輸出入品を明らかにした上で、日本円の為替相場の変動をもたらした日本政府の政策と、それが日本の輸出品の輸出先における価格動向に与えた影響に触れつつ、〔解答用紙 B〕の所定の欄の範囲内で記述しなさい。

b

1933年4月11日印度政府は突然何等の予告もなく、日印通商条約廃棄の声明を行い、翌日には印度立法会議において、ダンピング防止法案を通過せしめ、これにより6月7日イギリス品以外の綿布には、七割五分というほとんど禁止的高率関税を課して、徹底的に日本品排撃の挙に出たのであります。（中略）我日本は印度より毎年莫大なる綿花を輸入しておりまして、（中略）然るに、 α 僅か二、三年日本の品物が多く這入るようになったからといってかかる暴挙にでるといことは、常識上解し難い事であります。（中略）日本政府と致しましても直ちに嚴重抗議致しますと共に、改めて通商会議を開催する事になり（後略）

（資料出所は省略する。）



〔資料出所〕日本銀行金融研究所「歴史統計 外国為替相場・横浜正金銀行建電信売」より作成。

